



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

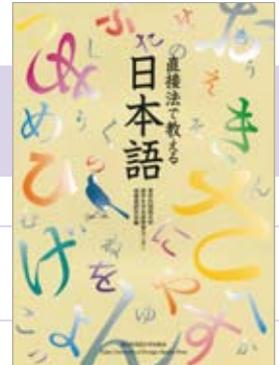
しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

日本語で日本語を教えるための教師用引き書 『直接法で教える日本語』

編著者：東京外国語大学留学生日本語教育センター 出版社：東京外国語大学出版会

URL：http://www.tufts.ac.jp/blog/tufspub/ 発行年月：2009年5月

ISBN：978-4-904575-04-8 判型・頁数：B5判、494頁、CD-ROM 1枚 定価：3,360円



みなさんはどのように日本語を教えていますか。この本は、いわゆる「直接法」で教えるための教師用引き書です。「直接法」ということばはいろいろな意味で使われますが、この本では、「媒介語（学習者の理解できることば）を使わない」「日本語のルールを学習者に推測させ、理解させていく」「帰納的な学習」という意味で使っています。この本は、東京外国語大学留学生日本語教育センターの、40年間にわたる経験の中から生まれた「文型」を中心とした「直接法」による教え方のノウハウの蓄積です。このセンターが編集している『初級日本語』だけでなく、ほかの日本語教科書を使っている教師も参考にすることができます。巻末には『みんなの日本語初級I, II』（スリーエーネットワーク）との文型対照表も付いています。

▽経験の浅い日本語教師でも

「日本語で日本語を教える」ことができる

「直接法」で教える場合、教師の動き、ことばの使い方、その順番、イラストや実物の使い方などに関して、さまざまな技能が必要になり、経験の浅い教師には難しいと感じる場合があります。この本には、各文型を「直接法」で導入するときの教師の台詞、学生との想定問答が書いてありますので、経験の浅い教師でも、そのまま授業で使ってみることができます。

▽教師の準備を助ける「豊富なイラスト」

「直接法」で教える場合、教師は「イラスト」や「実物」などさまざまなものを準備する必要があります。この本では、文型導入などで提示するイラスト433枚が、すべて付属のCDにカラーで収録されていますので、そのまま印刷したりして利用することができます。

▽授業時間の不足を補う副教材としての「eラーニング教材」

この本に準拠したeラーニング教材「JPLANG」を使うことで、授業時間には行えなかった練習を学習者に自習させることができます。語彙、文法、ドリル、会話練習、聴解などのコンテンツが用意されています。ユーザー登録すれば無料で使うことができますので、海外で教える場合にも便利です。

▽教師の学ぶステップとしての利用

この本の特徴は、前述のとおり経験の浅い教師でも、書かれている内容をそのままなぞることで授業ができるという点にあります。しかし、実際の現場ではさまざまな問題にぶつかることが予想され、常に自分で考え学ぶ姿勢を持ち続けることが必要です。この本の中には「気づかせポイント」「留意点」などが書かれていますので、そうした問題にぶつかったときのヒントになるでしょう。また、この本では「文型」中心の教え方が書かれています。この本に書かれていることを参考に、応用、



発展練習をすることもできます。巻末には、市販されている3種類の教室活動集との対照表も載っていますので、より実際のコミュニケーションに近づけた活動を取り入れ、自分なりに授業を組み立てていくうえで参考になります。